



完成した朗読劇台本を利用しながら、クラス全体で文章の読み取り内容（解釈）と朗読の仕方の妥当性を吟味し合っているところ。班で話し合いを行った後に全体討論を行ったことが功を奏し、生徒からは積極的に意見発表が行われた。教師がうまく生徒の発言をコーディネートしながらつないでいくことで、より深い学び合いにすることができた。

(2) 数学科 ジグソー活動を取り入れ、既習事項を意図的に活用させる学習活動の実践
第1学年 「比例と反比例の利用」

生徒が、既習事項を生かせば解けるかも知れないという見通しがもてるような学習活動において、「ジグソー学習」を取り入れて、課題追究を行った。

「ジグソー班」と「エキスパートグループ」の2つのグループ形態は、一人一人が責任をもって取り組まなければ成り立たない学習であるため、すべての生徒が意欲的に課題に取り組むことができていた。他の考えを聞いたり、他人に説明したりする活動を中心にして、異なる見方を組み合わせて問題を解決していた。

教師は、全体で紹介したい考えを見取り称賛したり、つまずいて他人に説明できない生徒を予想して意図的にアドバイスしたりした。授業の感想では、「達成感をもてた」「学習内容がしっかり理解できた」と答えた生徒が多かった。



振り返りの時間を確保することで、「次の時間にすぐに復習できる。」や「あとでノートを見たときにわからなかったところを絞って何度も復習できる。」などの感想があるように、振り返りが学習内容を確実に身に付けさせることにつながっていった。

3 実践の成果と課題

- ジグソー法を取り入れ、説明する必要感をもたせた上で、エキスパート活動を行うことにより、より意欲を高め取り組むことができた。このように学び合う活動を取り入れた結果、生徒同士が互いに試行錯誤しながら考え高め合う姿を見ることができるようになり、生徒同士のコミュニケーションの円滑化につながっている。
- すべての教科の授業で「振り返り」を認識し、それぞれの教科の特性に合わせたまとめを工夫して行った結果、授業で学んだことをしっかり把握し、言葉で整理できる生徒が増えてきた。
- 授業や宿題・課題等で基礎・基本や既習事項を意図的に活用させるようにした結果、生徒たちが今までの学習を振り返り、活用しようとする姿が見られるようになり、より主体的な学習態度につながっている。
- 授業の振り返りで、まとめに何を書いていいか迷う生徒に対しては、さらに一人一人の学習状況の見取りと支援を充実させたり、板書を工夫し学習した内容が明確にわかるようにしたりする必要がある。
- 今後、ジグソー法などの学習方法の工夫に加え、教師が生徒の考えを見取り生かして称賛したり、生徒の考えを引き出し、コーディネートするなど生徒へのさらなる積極的な関わりを意識して指導する必要がある。